

平成 27 年 度 学 校 評 価 実 施 報 告 書 (定時制)

次のとおり学校評価を実施しましたので報告します。

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
<教育課程> (1) 個に応じた学習指導の推進 (2) 外部の教育資源を活用した幅広い教育課程の編成 (3) 人権教育の推進	(1) ①生徒の特性、能力、取組みに応じてきめ細かく個別指導を行い、基礎学力の定着を図る。 ②日本語を母語としない生徒に対する個別授業を実施し、日本語や日本の風土について理解を深めさせる。 (2) 校外講座や技能審査等による単位認定制度を生徒が積極的に活用するよう指導するとともに、さらに幅広く外部の教育資源の活用を検討する。 (3) 「いのちの授業」の一環として、「防災教育」や「いじめ防止教育」を実施し、他者への思いやりや自分を大切にすることを育む。	(1) ①生徒の特性に応じた個別指導ができたか。 ②日本語を母語としない生徒に対して、きめ細かな学習指導をすることができたか。 (2) 校外講座等を活用し、単位修得した生徒の数が増加したか。 (3) 生徒の防災意識、人権意識が高まったか。	(1) 「学習支援を必要とする生徒への合理的配慮」を組織的な授業改善の目標に設定し直し、習熟度を考慮した柔軟な対応を行い、一定の成果をあげることができた。 (2) 「就業体験活動」における単位修得の規定を整備し、単位認定を促進した。また、校外講座やボランティア活動においても単位を取得することができた。 (3) 「いのちの授業」の一環として、「性感染症予防講演会」(12月)と「防災教育」(2月)及び「いじめ防止教育」(3月)を実施し、他者への思いやりや、自分を大切にすることを育むことができ、生徒たちの自己有用感の高揚にもつながった。 また、「携帯電話教室」(2月)に実施し、SNS上のトラブルや情報モラル等を育成する指導ができた。 さらに、入学年次対象に映画「めぐみ」(アニメ)を活用した人権教育を行った。	(1) 日本語の習熟度の差や母語の違いから、多様な生徒への指導方法に課題がある。できるだけ、きめ細かな対応で改善したい。 (2) 学校外における学修の単位認定に関する規程を整理及び周知し、学校外の教育力を活用しながら、単位認定を促進する。 (3) 他の学校行事に比べると生徒の参加率が低いという課題がある。参加率を高める工夫も必要であり、授業の中に位置づけるという方法も必要である。 また、人権教育は全校集会やLHR、各教科の中でも取り組む必要があり、今後の課題でもある。	(保護者) ・個別の丁寧な対応に感謝している。きめ細かな指導は大変だと思うが是非継続して欲しい。 (学校評議員) ・個に応じた指導は手間も時間もかかるが、熱心に取り組んでいる。 ・「西部総合職業技術校」との連携を充実させ、このような体験ができる機会を増やして欲しい。	(学校評価) ・個に応じた学習指導を行い、少人数学習やチームティーチングを取り入れ、生徒の学習状況に応じた指導を行い、成果を上げることができた。 (改善方策等) ・「西部総合職業技術校」との連携をさらに推進し、生徒が積極的に履修できるような環境を整備する。 ・いのちの授業に関しては、日常の指導の中でもその重要性を理解させることに努める。

<p><生徒指導・支援></p> <p>(1) 個々の生徒の状況の把握と情報共有によるきめ細かな指導の推進</p> <p>(2) 自己肯定感の醸成による問題行動の未然防止</p>	<p>(1) ①複雑な家庭環境の生徒が多いことから、個々の生徒の家庭環境や心身の状況等を把握し、教職員同士の情報共有と共通理解を図り、学校全体として支援できる体制をつくる。</p> <p>②教育相談コーディネーターを中心としてケース会議等を定期的に行うなど教育相談体制を整備し、スクールカウンセラーや外部関係機関、専門機関との連携を図る。</p> <p>③発達障害の理解と支援のあり方と「いじめ」に係る職員研修会等を実施する。</p> <p>(2) ①ルールを守り互いを認め合うことで、集団への帰属意識を高める生徒指導・生徒支援を行い、自己肯定感や自律心を醸成する。</p> <p>②計画的・組織的な学校内外の巡回指導や生徒会活動の活性化を図ることにより問題行動等の未然防止に努める。</p>	<p>(1) ①生徒情報の共有と共通理解を図る体制づくりができたか。</p> <p>②スクールカウンセラーからの情報提供及び定期的なケース会議の実施と必要に応じて外部機関や専門機関との連携が図ることができたか。</p> <p>③発達障害やいじめに対する職員の理解が深まったか。</p> <p>(2) ①自己肯定感や自律の育成をめざした生徒指導・生徒支援をすることができたか。</p> <p>②問題行動等の未然防止に向けた組織的な校内外の巡回指導をすることができたか。また、生徒会活動を活性化できたか。</p>	<p>(1) ①多様な生徒を多く抱える定時制において、担任を中心に個々の生徒の家庭環境や心身の状況を把握することができた。さらにあらゆる機会を通して、教職員同士の情報共有と情報交換をし、共通理解を図ることができた。</p> <p>②養護教諭と教育相談コーディネーターを中心に、スクールカウンセラーとの連携を密に図り、必要に応じてケース会議等を開催し、情報を共有することができた。</p> <p>また、特別支援学校との連携を図り、事例研究等の研修会に参加することができた。</p> <p>③発達障害や障がい者に関する校内研修を開催し、職員の意識を深めることができた。</p> <p>(2) ①生徒たちが「安心・安全」に学校生活を送ることができるよう、全校集会での講話や注意喚起の掲示物を作成し、ルールやマナーを守り、生徒の自立育成に向けた生徒指導や支援を行うことができた。</p> <p>②問題行動の未然防止に取り組み、計画的・組織的に校舎内外の巡回を実施した。</p> <p>また、学校行事や生徒会活動を活性化するための企画立案することができた。</p>	<p>(1) ①生徒の家庭環境や心身の状況等を学校として詳細に把握できない場合もある。そのため、家庭との連絡や保護者等の面談を通して、現状把握に努める必要がある。</p> <p>②年々、スクールカウンセラーに相談する生徒が増えている。スクールカウンセラーの来校回数が増加と時間の確保が必要である。</p> <p>③職員会議後など、全教職員が一同に集まる機会を通して、研修の成果や報告を共有する機会が必要である。</p> <p>(2) ①今後もルールやマナーを守らせ、自己肯定感の育成に向けた未然防止と毅然とした生徒指導や支援を継続して取り組む必要がある。</p> <p>②部外者対策や生徒の安全確保の観点からも、今後も計画的・組織的な校舎内外の巡回を継続していく必要がある。</p> <p>また、学校行事においては、教員主導型の企画立案ではなく、生徒が主体的となって計画できる支援が必要である。</p>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒による迷惑行為がほとんどなく、安心して登校させることができています。 <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒理解は指導の要、そこに力を入れているところが素晴らしい。職員間の情報共有と連携を更に進め、より効果的な指導をお願いしたい。 生徒指導件数も減り、生徒が落ち着いて学校生活を送っていることは評価できる。大変だと思うが、ぜひ継続して欲しい。 高校生世代に対する心身には、両方のケア、特にメンタルヘルスサポートの大切さを感じた。 	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題を抱えた生徒に適切な指導を行う体制づくりと職員の意識を向上させる取組みができた。 巡回指導などの日常の活動により、生徒の問題行動を未然に防止することができた。 <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援を必要とする生徒は増加傾向にあり、スクールカウンセラーや外部機関との連携をより一層広げる必要がある。
---	--	--	---	---	---	--

<p><学習指導・授業改善></p> <p>(1) 生徒の興味・関心を高める組織的な授業改善の推進</p> <p>(2) 個に応じた学習支援の推進</p>	<p>(1) グループ学習や生徒による発表など、生徒が主体となる授業を行うことにより、生徒の「興味・関心」を高め、基礎学力の定着を図る。</p> <p>(2) 学習面での到達度の違いを把握した上で教材等を工夫した授業実践と、夏季補習による個別の学習支援を実施する。</p>	<p>(1) 学習への取り組みや授業への充実度を向上させることができたか。</p> <p>(2) 個に応じた教材を作成するとともに、夏季補習を実施することができたか。</p>	<p>(1) 授業評価の結果を踏まえ、組織的な授業改善のテーマを設定し、「生徒が主体的に取り組む授業」の展開を進めた。その一環として公開研究授業を実施した。</p> <p>(2) 夏季講習を実施し、参加した1年生を中心に、個に応じた指導を行うことができた。</p>	<p>(1) 研究授業における成果を、次年度のさらなる展開につなげる計画立案行う。</p> <p>(2) 夏季講習へ参加する生徒の出席率を高める工夫が必要である。</p>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の関心や意欲が高まる授業を行って欲しい。 <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 公開研究授業は教員の力量を高めることに直接つながる。引き続き取組んで欲しい。 中学校ではアクティブラーニングに関する外部講師を招いている。ぜひ活用してもらいたい。 	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小集団学習や教材を工夫することで、生徒の興味関心を高める指導ができた。生徒が主体的に授業に参加する取組みについては、今度とも継続する必要がある。 <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業方法の工夫や生徒が積極的に授業に参加する機会を増やすため、より一層の授業改善研修が必要である。
<p><キャリア教育></p> <p>(1) 外部機関との連携によるキャリア教育の推進</p> <p>(2) 社会人として必要な道徳心の育成</p>	<p>(1) 外部講師による「産業社会と人間」の授業等により、キャリアについての意識を高めるとともに、アルバイト等の実務を振り返らせ将来を考えさせる。</p> <p>(2) マナーアップ運動や生徒のボランティアによる地域貢献活動を通じて、道徳心の育成を図る。</p>	<p>(1) 就職や進学に対する意識が向上し、積極的に選択した進路に向かうことができたか。</p> <p>(2) マナーアップ運動や地域貢献活動への参加者が増え、成果をあげることができたか。</p>	<p>(1) 外部機関との連携によるキャリア教育を「産業社会と人間」の授業を中心に実施できた。</p> <p>(2) 生徒会が中心になって行うマナーアップ運動や地域貢献活動（学校周辺の清掃活動）を実施し、生徒が主体的に取り組むことができた。</p>	<p>(1) 外部機関との連携について、より多くの機会を提供し、職員のスキル向上につなげていきたい。</p> <p>西部総合職業技術校との技能教育連携をさらに発展させたい。</p> <p>(2) 生徒会がリーダーシップを取り、学校生活全体を通して、全校生徒のマナー意識を向上させたい。</p>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 多種多様な経験を積めるところが総合学科のよいところだと思うので、これからもいろいろなプログラムを充実させてもらいたい。 <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> キャリア教育に関して、充実した取組みをされている。更なる継続と発展を期待する。 職業技術校との連携は本校の大きな強みである。ますます充実して欲しい。 	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部機関との連携を行ったことで、生徒の積極的な参加につながった。 <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各機関との連携をますます強化し、内容の充実を図り、生徒の進路意識を早い段階から育てるようにする。

<p><地域等連携> (1) キャリア教育と関連づけた地域貢献活動の推進</p> <p>(2) 特別活動の活性化による地域等との連携の推進</p>	<p>(1) 社会人としての存在意識を高めるために、就労体験やボランティア活動、地域清掃等の地域貢献活動を活性化させる。</p> <p>(2) ①体育祭や文化祭などの生徒会行事の活発化とマナーアップ運動を継続実施により、地域との連携を図る。 ②北相地区定通球技大会や部活動による県高等学校定通大会等の公式戦への参加及び定通芸術作品展への積極的な参加体制づくりにつとめる</p>	<p>(1) 就労体験やボランティア活動、地域清掃等の地域貢献活動を活性化することができたか。</p> <p>(2) ①生徒会行事の活発化とマナーアップ運動の継続実施により、地域との連携を図ることができたか。 ②部活動の公式戦への参加や定通術作品展への積極的に参加体制づくりができたか。</p>	<p>(1) 生徒会活動の一環として、通学路ボランティア清掃と「赤レンガ広場清掃」を実施し、有志生徒を含め約20名の生徒が参加した。</p> <p>(2) ①学校行事（体育祭・文化祭）は、生徒の参加率も非常に高く、年々盛り上がっている。事前の企画や当日の準備も生徒たちが主体的に取組み、生徒の自己有用感の高揚が図られている。 ②バスケットボール部の公式戦参加や定通球技大会（バスケット部・卓球部）に参加することができた。 また、県央県北地区定通芸術作品には、数多くの作品が出展され、8名の生徒が入賞した（銀賞3名、銅賞5名）。 さらに、県の定通芸術作品展にも出展できた。</p>	<p>(1) 有志生徒が多く参加できる体制を構築し、様々な場面でボランティア精神を養う機会を設けさせたい。</p> <p>(2) ①地域住民やとの連携も必要であると考えているが、夜間定時制という時間的な制約の中で難しい。今後の大きな課題でもある。 ②部活動の活性化と定通球技大会への参加促進を高める工夫が必要であるが、活動時間の確保が課題である。 また、今後は新しい文化部を立ち上げ、一層の活性化に努めたい。</p>	<p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時制の現状を考えると地域連携は難しいと思われるが、できることをコツコツと継続していくことが大切である。 ・ボランティア参加の教育効果は高いので、充実した取組みなるように期待する。 ・中学生も高校生活動の姿を見て刺激を受けている。今後可能であれば高校生の活動に中学生も一緒に参加させたい。 	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動に関心を持ち参加する生徒が増加した。日常の学校生活では体験できない教育的効果を色々な場面で得ることができている。 ・定通芸術作品展の参加について、より多くの作品を出品することができた。 <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動に対する意欲を高め、活動を活性化させる方策を検討する。
<p><学校運営・学校管理> (1) 防災教育の推進</p> <p>(2) 職員の学びあいによる人材育成の推進</p>	<p>(1) 定時制の状況を考慮した学習会など、実際に即した防災教育を進め災害に対する意識を高めていくとともに、地域とも連携し地域の中での防災を考えさせる。</p> <p>(2) 教科をこえて他の職員の授業を見学するなど他の授業の良いところを取り込める研究授業や研修会を実施する。</p>	<p>(1) 生徒の災害に対する意識を高めることができたか。</p> <p>(2) ベテラン職員の授業のノウハウを若い職員に伝えることができたか。</p>	<p>(1) 避難訓練（6月と9月に実施）を実施し、その後の講話やDVD視聴を通して、生徒の災害に対する意識を高めることができた。</p> <p>(2) 研究授業を通して、共通のテーマを持った授業見学の機会を確保した。</p>	<p>(1) 避難訓練だけではなく、今後も様々な教育活動を通して、防災教育や災害に対する意識を高める必要がある。 また、今後は「東日本大震災」を風化させないための学校全体の取組みも必要である。</p> <p>(2) 授業に生徒が主体的に参加できるように授業改善を推進する。</p>	<p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OJTは人材育成の要と思われる。より一層の充実をお願いしたい。 	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災教育においては、一定の成果をおさめることができた。人材育成については、グループ業務の規程集を活用することで、経験の浅い職員を指導することができた。 <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修会をさらに充実させ、人材育成に努める。